

様式 3 研究(2)

科学研究費補助金(特別領域研究(A)(2)) 交付申請書							
研究代表者	所属部局		職		ふりがな 氏 名		
	学校教育研究センター		教授		なりたしげる 成田 滋 印		
研究課題名	現職教師支援の多目的遠隔教育・学習の方略とデザインの評価						
事項	使用内訳						
	合計	設備備品費	消耗品費	国内旅費	外国旅費	謝金	その他
補助金額 (交付予定額)	千円 1,300	千円 350	千円 240	千円 160	千円 480	千円 30	千円 40
研究 組 織 研 究 代 表 書 及 び 研 究 分 担 者	氏名	所属部局・職		役割分担等 (本年度の研究計画に対する 分担事項等を記入すること。)			
	成田 滋	学校教育研究センター・ 教授		研究の総括、企画、渉外、評価			
	長瀬久明	学校教育研究センター・ 助教授		多目的遠隔授業の高度化と多様化のデザイン			
	西村治彦	学校教育学部・教授		システム工学からの多目的遠隔授業の最適化			
	森広浩一郎	学校教育学部・講師		遠隔教育サーバーのセキュリティ対策、改良			
	永田智子	学校教育学部・助手		ネットワーク上の教材開発と改良、評価			
計 5 名							
機関番号	14503	研究種目	特定領域研究(A)(2)	課題番号	13020228		

## 研究(2)

### 研究の目的

本研究は、次の各点を明らかにすることを目的とする。

- (1) 学校や現職教師に対して、どのようにコンピュータや情報通信技術を基盤とした遠隔教育・学習環境に対する期待と展望が見込まれるか。
- (2) 学校あるいは学習者の身近な環境での多目的遠隔教育・学習システム実現を支えるネットワーク利用における各種の基盤は、どのようにデザインできるか。
- (3) 学校の多目的遠隔教育・学習システムにおける現職教師のスキルは何か。また、スキルの形成のための研修およびシステムのユーザーインターフェイスは、いかにあるべきか。
- (4) 現職教師に対する直接的な学習の支援と遠隔による支援をいかに構造化し、全体としての学習支援を効果的に企画するか。
- (5) 多目的遠隔教育・学習システムにおいて、生徒を支援する学校教員のスキルをいかに評価し、現職教員自身がエンパワーメントする過程をどのように支援するか。

### 本年度の研究実施計画

平成13年度は、これまでの様々な現職教師の養成に関する形態の長所や短所を多角的に検討する。とりわけ、先進国における遠隔教育のシステムを、教育成果という観点から総合的に検討する。そして、従来の現職教師の養成や訓練が教育が教師個人の頭の中への知識集積を主目的にしていたことを振り返り、現職教師が研究者のコミュニティと同じようなツールを用いて、資質や力量の形成のために協同的に知識を構築し、その学習効果を検討する多目的な遠隔教育システムの方略とデザインを検討する。

こうした方略に立脚したシステムは、非同期型共有データベースで、学習は共通のページや個人のページをリンクしたり参照しながら、プロジェクトを通して科学的な探求をすることができるものとする。また、精神的に問題を抱える現職教師のコミュニケーションを促進するコミュニティの在り方を追及する多目的遠隔教育・学習の方法を追求する。

さらに、本システムの教育的効果は、特に個別の学習計画や教材作成の機能、学習教材と資源データベースの効用、さらに現職教師と支援者同士の学習相談室の利便性などが主たる検討課題となる。

最後に、市販の遠隔教授・学習支援ツールである WebCT、BackBoardなどの比較検討を行い、学習の最適化の要因などを追求しながらその教育成果を調べる。

最後に研究成果をまとめ、海外を含めた学会などで発表し、報告書をまとめる。

### 主要な設備備品の内訳(1品又は1組みもしくは1式の価格が50万円位以上のもの)

品名	仕様 (製造会社名・型)	数量	(千円) 単価	(千円) 金額	納入予定時期